



文政小

第13号

学校便り
文責 生田 文明

人権月間の取組



十二月に入り、急に寒くなり、手袋をして登校してくる児童も増えてきました。また、寒くなったせいでしょか、新型コロナウイルスの感染も広がりがつあり、学校では、地域の方々（文政っ子応援協議会）のご協力を得ながら、感染予防に向けた取組を継続的に行っています。今後は、広がりがとても心配される場所です。ご家庭でも、三密をさける、手洗い、マスクの着用等の感染予防策の徹底をよろしくお願いいたします。

さて、本校では、十一月二十四日から十二月二十三日までの期間を人権月間として位置づけ、部落問題をはじめとする様々な人権問題や身の回りの差別・偏見に自ら気づき、考え、行動できる児童の育成をねらいとして、取組を行っているところです。特に今年度は、新型コロナウイルスに感染した人の気持ちに寄り添い、思いやりの気持ちを持った言動ができる児童になることもねらいとしています。

◎授業参観



三日（木）は、二学期末の授業参観・学級懇談会にたくさんの保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。今年度初めての授業参観。お子さんの学習の様子はいかがだったでしょうか。



授業参観の様子



1-1 授業の様子

今回の授業参観では、全学級で人権教育に関する授業を学活や道徳で行いました。一年生は「さるとかに」二年生は「ぼくのランドセル」三年生は「いただきます」四年生は「わたしはバイキンなんかじゃない」五年生は「私は、強く生きる」六年生は「手紙をくれたあなたたちへ」、それぞれの題材の主人公の思いや考えを自分の生活・クラスの様子と重ね合わせ、しっかりと考え、自分の思いを伝え、みんなで作え、学ぶ授業をめざしました。



4-1 授業の様子



5-1 授業の様子



6-1 授業の様子



3-1 授業の様子



2-1 授業の様子

◎児童会の取組



児童会では、「みんなが仲良くなつて、笑顔で学校生活を送ることができるようになるために」を議題として、代表委員会で話し合いをしました。

※その結果
①友だちのいいところをカードに書いて贈る「みんなのいいところ集まる木 大作戦」



◎スペシャル イングリッシュ タイム



タンズリー先生の授業



ケイト先生の授業



ダニエル先生の授業



デイビット先生の授業

十日（木）、外国語活動（三・四年生）、外国語科（五・六年生）の授業の一環として、アメリカ・カナダ・オーストラリア出身の四名のA.L.T.の先生に本校いただき、クリスマスを題材にしたゲームを通して、英語でコミュニケーションをとる学習を行いました。また、国によってクリスマスの過ごし方の違いも学ぶことができました。

②毎日取り組むこと
「ありがとうを進んで言う」、「友達のいいところを見つけてまねをする」、「さん」、「くん」をつけて名前を呼ぶ」
以上①・②を行うことが決まり、今、取り組んでいるところです。
※これらの取組と関連付けて、心のアンケートによる児童の悩みの実態把握と個別面談、人権学習で学んだことを隣接学年で共有する、低・中・高学年別の人権集会を行う予定です。